

ごあいさつ

日本記号学会第37回大会実行委員長：
高馬 京子（明治大学准教授）

日本記号学会第37回大会を2017年5月20日（土）、21日（日）の二日間、明治大学で開催致します。今回は「モードの終焉？—デジタルメディア時代のファッション」と題して、1948年に『1830年のモード』をまとめたA.J. グレマス生誕から100年、ロラン・バルトの『モードの体系』出版から50年を迎える今年、当時は想像もしなかったであろうデジタルメディアが隆盛する今日のファッションの形成と伝達について多角的に考えます。バルトの『モードの体系』の時代のモード、すなわち、デジタルメディア以前、主流としてファッション企業、マスメディアが生成し、一方向的に発信していた大文字の Mode（モード）に対し、現代のような小文字の複数の modes を局所的かつ双方向的に生成、伝達させるデジタルメディア時代のファッションはどのように検討していけばよいのか、さらには、ファッション形成・伝達メディアの多様化に伴い、ファッションと着用者のアイデンティティ形成の関係はどう変化したか等、デジタルメディア時代のファッションについて多角的に議論します。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

申込方法

会員以外の方も懇親会を含むすべての企画にご参加頂けます。

4月28日（金）までに専用の申し込みハガキに切手を貼付の上大会実行委員会へご郵送ください。なお当日受付にて会員・一般ともに参加費（資料代含む）として1000円をお支払いいただきますようお願いします。

懇親会

1日目（土）の日程終了後、懇親会を行ないます。皆様ふるってご参加ください。

参加費：会員・一般 5000 円

学生 3000 円

（当日、会場受付にてお支払いください）

お問合せ

日本記号学会第37回大会実行委員会
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
明治大学研究棟223号室 高馬京子研究室
E-MAIL：37taikai@jassweb.jp
学会 HP：http://www.jassweb.jp/

会場地図



日本記号学会第37回大会

モードの終焉？ デジタルメディア時代のファッション

2017年5月20日（土）、21日（日）
明治大学リハビリタワー
（東京都千代田区神田駿河台1-1）

主催：日本記号学会



1日目：5月20日（土）

メイン会場：
明治大学リバティータワー 1F 1011 教室

13：00 受付開始

13：30 -14：00 総会

14：20 -14：40 問題提起：
高馬京子大会実行委員長（明治大学）

14：40 -17：00 第1セッション

紙上のモード

——印刷メディアと流行

平芳裕子（神戸大学）
小林美香（東京国立近代美術館）
高馬京子（明治大学）
成実弘至（京都女子大学）
司会：佐藤守弘（京都精華大学）

17：30 -20：00 懇親会

（明治大学リバティータワー 23F 宮城浩蔵ホール）

2日目：5月21日（日）

学会員による研究発表 会場：リバティータワー 7F 分科会 A：1075 教室、分科会 B：1076 教室
メイン会場（第2・第3セッション）：リバティータワー 1F 1011 教室

10：00 -12：15

学会員による研究発表 ★

分科会 A：リバティータワー 7F 1075 教室
分科会 B：リバティータワー 7F 1076 教室

（12：15 -13：30 昼食休憩）

13：30 -14：40 第2セッション

メイン会場：リバティータワー 1F 1011 教室

ストリートの想像力

—＜HARAJUKU / SHIBUYA＞

高野公三子（ACROSS 編集部 文化学園大学）
司会：水島久光（東海大学）

15：00 -17：40 第3セッション

メイン会場：リバティータワー 1F 1011 教室

デジタルメディア時代のファッション

須藤絢乃（アーティスト）
大黒岳彦（明治大学）
吉岡洋（京都大学）
司会：高馬京子（明治大学）

17：40 閉会の辞：前川修会長（神戸大学）

★学会員による研究発表（分科会）

■ 分科会 A（1075 教室） 司会：外山知徳

【発表1】
考古学資料における記号表現と観念モデルの再構築
武居竜生（信濃医療福祉センター）

【発表2】
「投射」を手がかりにした「アブダクション」の分析と展開
佐古仁志（立教大学）

【発表3】
微笑の歓待
—横光利一『微笑』における文学と倫理—
大久保美花（明治大学大学院）

■ 分科会 B（1076 教室） 司会：河田学

【発表1】
サードプレイスとSNS
妻木宣嗣（大阪工業大学）

【発表2】
『木村拓哉』という記憶
野中直人（（株）スリープセレクト）

【発表3】
荒木経惟のリアリズムとフィクションの関係性
—1980年代の雑誌分析を中心に
唄邦弘（京都精華大学）

【発表4】
ファルマコン（pharmakon）と衛生概念（Hygiène）
に基づく身体論の再構築と芸術的实践
大久保美紀（パリ第8大学）